

自然共生型農業の 理論と技術

持続可能な耕作放棄地の活用で
地域農業を活性化する

コロナ禍で外国人技能実習生の入国や農産物の輸入が制限されるようになり、国内での持続可能な農産物生産は今後増々重要になってきます。

一方で茨城県内の耕作放棄地面積は全国2位の21,120 haもあるにもかかわらず、新規就農者が耕作放棄地を借りても技術不足等で安定した栽培ができず、農地はあるのに十分に活用できていません。

そこで、経験年数の浅い農家や有機農業に関心のある方むけに県内で取り組まれている自然共生型農業について紹介をします。

11/15 2020 (日)
開始13:00 終了17:00

日本農業実践学園より
オンライン配信

申し込みフォームから記入いただいた方にのみ、当日URLをイベント前日までにお送りします。配信にはZoomを使います。

参加無料

主催：茨城大学農学部国際フィールド農学センター
協賛：NPO法人あしたを拓く有機農園、
日本農業実践学園、Cookpad

持続可能な農法のベストプラクティスを共有

テーマ・登壇者(敬称略)

- ◎ORGANIC NO-TILL:保全しながら生産する新たな道
小松崎 将一
茨城大学農学部国際フィールド農学センター
- ◎耕作放棄地で土壌はどのように「良く」なるか？
金子 信博 福島大学食農学類
- ◎(有)機農業者育成のための技術指導
涌井 義郎 NPO法人あした有機農園
- ◎水田雑草生態系とその制御：
水稲における栽培技術及び研究事例
三木 孝昭 (公財)自然農法国際研究開発センター
- ◎現場紹介 松井 眞一 日本農業実践学園有機専攻担当
松浦 江里 茨城大学農学部国際フィールド農学センター

申し込みフォーム

右記のQRコードからフォームにアクセスし、必要事項を記入して下さい。

申し込み締め切り：11月14日(土) 17:00

問い合わせ先：茨城大学農学部国際フィールド農学センター
(TEL:029-888-8695 松浦)

